

No. 172

平成29年4月発行



北塩原村 KITASHIOBARA

☎(0241)23-3263 〒966-0485 北塩原村大字北山字姥ヶ作3151
HPアドレス <http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>

発行/北塩原村議会 編集/議会広報調査特別委員会(TEL 0241-23-3263)

目次

- 新年度当初予算可決 …… 2～9
- ズバリ！村政を質す …… 10～13
- 議案審議と概要 …… 14～17
- 国へ意見書を提出 …… 18

議会だより

3月議会



【写真】：さくら幼稚園



～平成29年度当初予算可決～

“未来へ”つなぐ村づくり！

【写真】：裏磐梯幼稚園

関連記事 2～9 ページ参照

目指し当初予算を可決！

3月 定例会

平成29年度予算編成基本方針

- ① 村民総参加による協働のむらづくり
- ② 魅力あふれる観光と農業のむらづくり
- ③ 安全・安心で暮らしやすいむらづくり
- ④ 未来につなぐ人材を育てるむらづくり
- ⑤ 女性や若者が活躍できるむらづくり

3月定例会で可決された村第五次総合振興計画を羅針盤として「未来につなぐ活力あるむらづくり」を目指し、「村長政策目標」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、各事業へ配分された。財政健全化の維持に努めつつ、農業振興公社設立準備や観光施設整備により魅力あふれる観光と農業のむらづくりを進める。

これからの「むらづくり」

平成29年度の一般会計予算の総額は前年度比4・3%減の、33億8382万円の予算編成となった。

若者定住促進へ住宅環境の整備を図る！

「未来」につなぐ活力ある村づくりを目指す

あらまし

3月定例会は3月8日から14日までの7日間の会期で開催されました。1日目に、村長招集あいさつ並びに提案理由の説明、諸般の報告、一件の議案審議を行い、その後、一般質問を行い3名の議員が村政をたどしました。
2日目は議案の説明が行われ、条例改正案や平成29年度一般会計及び特別会計当初予算案、さらに平成28年度一般会計及び特別会計補正予算案について説明を受けました。
3日目は常任委員会を開催し付託された案件、議案等の審議を行いました。
4日目から6日目まで休会を挟み、最終日に各議案について、質疑・討論・採決が行われました。

また、デジタル防災無線の利活用や火山防災対策の強化、防災拠点施設の整備により、安全・安心で暮らしやすいむらづくりの環境整備を図る。

未来へつなぐ人材育成

さらに、生涯学習とスポーツを積極的に推進し、幼稚園・小学校・中学校連携による一貫教育と学力の向上を図っていく。

教育施設や育英事業等の教育環境も整備を進めることで未来につなぐ人材を育てるむらづくりを推進していく。

女性と若者が輝くむら

そして、各分野において積極的に女性を登用していく。若者定住住宅や住宅用地も整備を進めるとともに裏磐梯地区への保育園の整備や出産から入学、医療といった未来を担う担い手への支援を行っていくことで、女性や若者が活躍できるむらづくりを図る。

議会からは、健全財政の維持を指摘する一方で、人口減少と過疎化が進む当村の現状において課題解決を図る事業や具体的な取り組みについて質問がなされた。

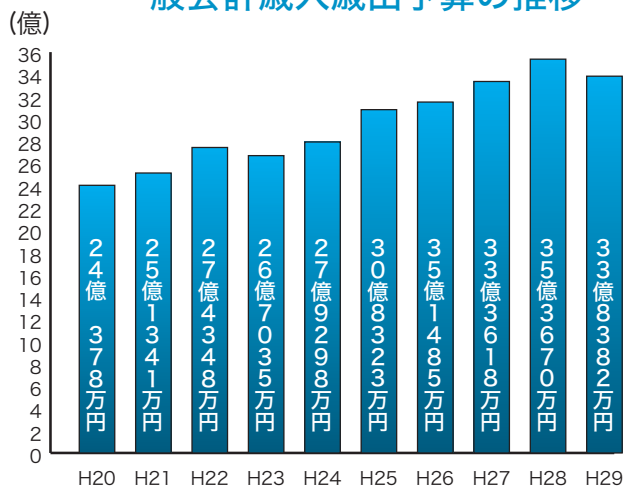
平成29年度予算 33億8382万円 活力ある村づくりを



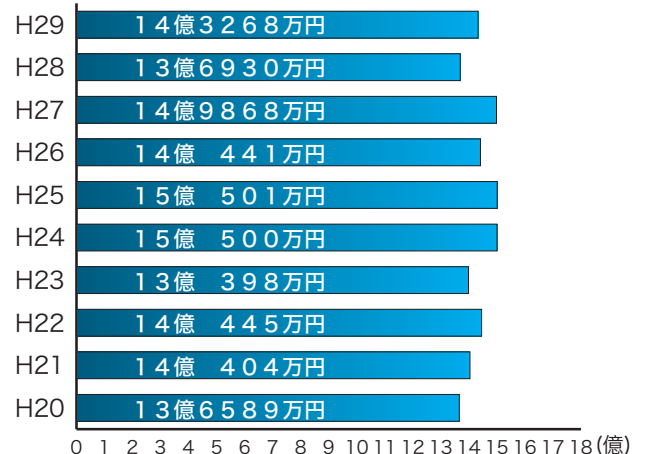
▲「未来」につなぐ活力ある村づくりを目指す（杉並区地域おこし協力隊と村の交流）

村の予算のここが知りたい

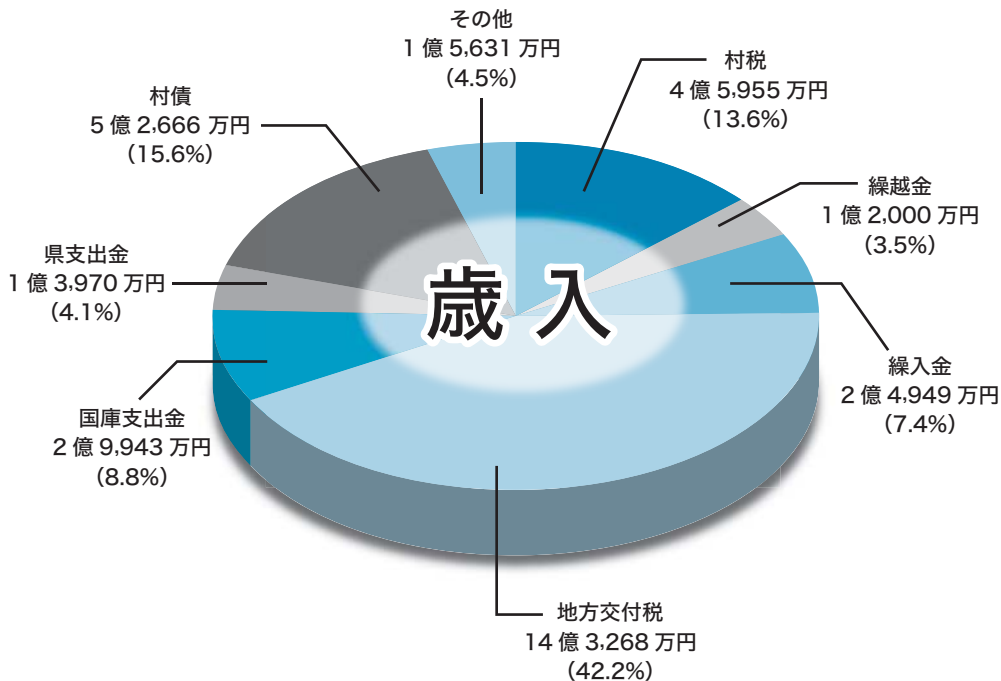
一般会計歳入歳出予算の推移



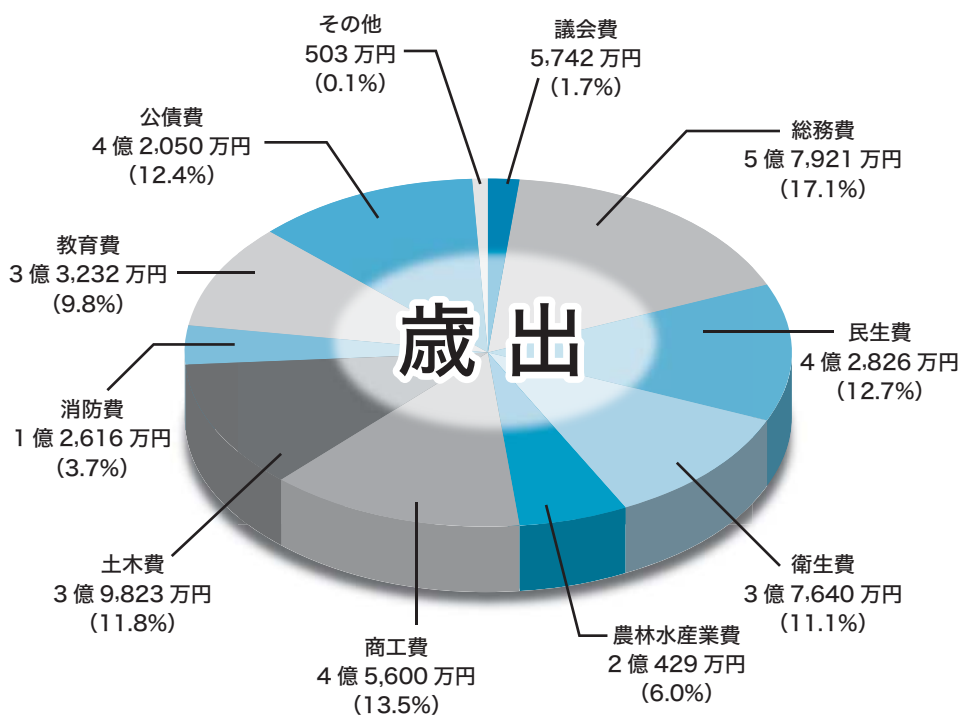
地方交付税の推移



下記グラフは、一般会計における歳入歳出予算の内容を項目及び性質別に表したものです。ここでは、各会計の予算状況や内容について説明していきます。



一般会計 33億8,382万円



**29年度
予算**

**未来へつなぐ村づくり目指すも
健全財政維持へ財政運営慎重に！**



▲未来につなぐ人材を育てる環境を整備する（学校施設及び設備の更新が図られる）※ 裏磐梯中学校の授業風景

平成29年度各会計予算

会 計 別	歳入歳出予算	議決の内容
一 般 会 計	33 億 8,382 万円	可決（賛成7：反対1）
国民健康保険事業費特別会計	4 億 3,781 万円	可決（全員賛成）
簡易水道事業費特別会計	1 億 3,762 万円	可決（全員賛成）
特定環境保全下水道事業特別会計	3 億 521 万円	可決（全員賛成）
簡易排水施設事業特別会計	324 万円	可決（全員賛成）
農業集落排水事業特別会計	9,347 万円	可決（全員賛成）
介護保険事業特別会計	3 億 5,183 万円	可決（全員賛成）
後期高齢者医療特別会計	2,650 万円	可決（全員賛成）

当初予算概要

効果的な事業の実施！

一般会計

平成29年度の一般会計当初予算は、33億8382万円と前年度予算より1億5288万円下回り、予算前年度比4・3%の減となった。

歳入予算においては、歳入の最も大きな割合を占める地方交付税が前年度比4・6%増の14億3268万円となり63338万円の増となる。

歳出予算は全体的に前年度伸び率が減少しており歳出予算が抑えられた結果となった。

その中で、教育費は前年度より7990万円増えたが、これは教育施設の改修や設備機器更新等、未来につなぐ人材を育成するため、教育環境の整備が図られる。

特別会計

平成29年度の各特別会計は、前年度と比較すると、介護サービス利用に係る介護費用の給付や介護予防事業のための介護保険事業特別会計と、高齢者の医療費に係る保険料を管理する後期高齢者医療特別会計の一部が上昇しているものの全体的に予算の額は減少傾向となった。

について審議をつくす！

診療所の指定管理委託料

診療体制の充実を図るべき

【問】小椋 元 議員

診療をやっていない日が多いように思うが、現在、診療所の指定管理契約はどのような体制になっているのか。

【答】住民課長

診療所は月曜日から土曜日まで運営されていますが、医師

の方が毎日常駐は来ていない状況にあります。

【問】小椋 元 議員

そういう体制は望ましくありません。それは、村が病院側の都合に合わせているだけではないのか。

【答】住民課長

震災以降、県内全域で医師の数が不足しており、村の診療所でも常勤出来ておりませんが、病院側と交渉等を重ね、改善に取り組んでいる状況です。

【問】小椋 元 議員

震災から6年経過するが改善はされてい。常勤出来ない理由を考慮しても、その分委託料を減額したり、現在依頼しているところとは別に医師の確保にあたるべきではないか。

【答】村 長

委託料と医師の確保についてですが、医師の確保に努めており現在交渉中でありますので今しばらく時間をいただければと思います。



▲地域住民が安心して暮らせる村へ診療所体制の整備が待たれる

車両購入慎重期すべき

【問】小椋 眞 議員

車両購入費は軽自動車2台と聞いているが計上した予算で間に合うのか。中古車を想定しているのであれば使用する側を考慮して見直すべきである。

購入後の使用者と使用目的は何か。

【答】総務企画課長

探勝路管理用に裏磐梯へ1台、そして桜峠の公園管理用に1台、それぞれ管理者の方が使用するもので、桜峠に関しては作業条件が悪い中での使用となるため、中古車を予定しており、いずれも予算の範囲内で適正に執行していきたいと思えます。



▲維持管理しやすい方法を検討せよ

協力隊活動実績は？

【問】小椋 眞 議員

地域おこし協力隊に関し、実績として作業記録や報告書を提出させているのか。

そして、地域おこし協力隊へ貸与している公用車について公私の区別をつけるべきではないか。

【答】総務企画課長

日々の業務日誌を記録、管理しており、三ヶ月に一度、活動報告としてレポートも提出してもらっています。

村から貸与している車両は、公私を兼ねておりますが業務時は村のステッカーを車に貼って使用するよう指導したり、燃料費も業務に必要な一定額を支給したりと区別していますが、ご指摘の件は、住民目線でも区別がつくように協議、調整していきたいと思えます。

予 算 審 議

29年度事業



▲村と関係機関が連携しイベント運営速やかに

裏磐梯観光協会補助金

イベント運営に人件費必要！

【問】 小 椋 眞 議員

29年度より裏磐梯観光協会
で所管するイベントが増え、補
助金も増額されているがイベン
トを補助する人件費分も含め
るべきではないのか。

【答】 商工観光課長

村も一緒になってイベント運
営を行う立場として予算編成

をしています。今後、関係団体
との協議を重ね、検討してい
きたいと思っています。

【問】 小 椋 眞 議員

松原湖周辺で行う予定だっ
たマラソン大会が関係機関の許
可がとれず延期となったが、本
来は村が率先して進めるべきと
ころを何故このような事態に
なったのか。

【答】 村 長

観光協会よりマラソン大会
を開催したいという話を受け、
今年の5月に開催予定としてい
ましたが、観光協会と村の認
識不足や関係機関への許可申
請の遅れから、今後の準備段
階として延期したものです。

【意見】 小 椋 眞 議員

議会へ協議、提案をしてい
る以上、今回のような延期す
るといった事態は問題である。
今後は観光協会と村が協力し
て情報交換や申請手続きを行
い進めるように努めていた
きたい。

整備中の観光施設を 最大限に活用せよ！

【問】 小 椋 眞 議員

裏磐梯における民間施設の
トイレ貸出に伴う報償費を計
上しているが、現在整備してい
る裏磐梯拠点駐車場の完成後
は大いに活用し、最終的には五
色沼までの遊歩道も整備すべ
きではないか。

【答】 商工観光課長

拠点駐車場の完成後は五色
沼までの遊歩道整備も含め、利
用者の利便性の向上に努めてい
かなければならないと思います
ので、今後検討していきたいと
思います。



▲施設を有効活用し利便性向上させよ

予算計上されている 工事の実行速やかに！

【問】 小 椋 眞 議員

蛇平地区に整備中の多目的
グラウンドについて、予算を
計上している以上、工事は速
やかに着工し計画的に進める
べきである。

そして、グラウンド完成後
は、そこからレークラインに
繋がる避難用道路も整備すべ
きと思うが実施する考えはあ
るか。

【答】 商工観光課長

国の社会資本整備総合交付
金計画で29年度が最終年度と
なり、芝張り工事、砂利舗装、
園内の道路関係の整備を予定
しています。

その後の防災及び利用計画
については、ご指摘の件も含
め今後検討していきたいと思
います。

算議 予審

平成29年度一般会計予算

住民生活第二の施策を求める

住民生活を優先的に！

【問】 小 椋 眞 議員

村道五色沼線に関し、冬季期間における五色沼への通行が出来ない状況であるのに、あえてその改良工事を行う意味はあるのか。

【答】 建設課長

予算に計上されている工事は、村道五色沼線の交通量の増加や大型バスの利用増加に伴う道路の拡幅工事を行うものです。

【問】 小 椋 眞 議員

村道五色沼線は大型バスがこれまでも不自由なく利用しており、あえて改良する意味はないと思う。

改良して利用しやすくなることはいいことであるが、住民生活を第一にもっと緊急性の高い箇所から整備すべきではないのか。

【答】 村 長

今回予定している工事は住民からの要望にも含まれており、予算編成においても住民生活を第一に考えたものになっています。今後も住民の生活を第一にした施策に取り組んでまいりたいと思います。

桜峠駐車場確保せよ

【問】 五十嵐力雄 議員

29年度予算にさくらまつり補助金を計上しているが、桜峠で毎年開催される同イベントに関し、以前から駐車場を拡張し安全性を高めるべきといった指摘があるが29年度予算で実施する考えはないのか。

【答】 商工観光課長

さくらまつり補助金は同イベント開催経費として毎年計上していますが、ご指摘のあった駐車場対策の必要性については、



▲駐車場拡張し安全対策万全に

【意見】 五十嵐力雄 議員

さくらまつりの駐車場拡張に関し、事故があつてからでは遅いので、安全に会場していただけのように早急に検討し対応すべきである。

同イベントの開催期間中にも同様の意見がでているところではありますが、利用期間が限られていることから、まずは駐車場拡張について関係機関との協議が必要と考えており、29年度予算では駐車場整備関係の経費は計上していません。

平成29年度一般会計当初予算案で討論！

《反対》

小 椋 元 議員

第三セクターのラビスパ裏磐梯について、一般会計より指定管理委託料や施設の修繕費など維持管理費を村で負担しているが来場者数は伸びず赤字となっている状況にある。

今後、年数とともに村が負担する施設の維持費も増加が見込まれる中で、施設管理について廃止も含めて見直しを進めていくべきと考えることから、今予算案に対して反対するものである。

論 点

第三セクター継続の
目的とメリットは？

《賛成》

小 椋 眞 議員

ラビスパ裏磐梯は村の活性化や地域住民の福祉向上を図るため、行政と議会、そして地域住民が一体となつて築きあげた貴重な財産です。

村内外の多くの方に当施設を安心して安全に、より快適に利用していただくために施設の経年劣化による修繕や施設維持経費を村で負担することは当然であると考えことから、今予算案に対して賛成とするものである。

注目事業をピックアップ！

村民総参加による協働の むらづくり



北塩原村空き家バンク

空き家の活用促進による
定住人口増加対策として、平
成29年度では空き家バンクの
運営管理と空
き家解体・改
修に伴う費用
の助成等を実
施し、空き家
の活用と定
住人口の拡大
を図る。

707万円

空き家対策事業

ここでは、平成29年度予算内容を、むらづ
くりのテーマ別に沿って、主な事業内容を紹
介していきます。

未来へつなぐ
むらづくり

どんな予算に
なってるの？

29年度
予算内容

安全・安心で暮らしやすい むらづくり



防災・減災行政の推進を図
るため、磐梯山火山防災マッ
プ作成や防災関連計画の策定
消防団活動
デジタル防
災無線の利
活用、その
他にも防災
訓練や消防
施設整備を
図っていく。

3540万円

防災・減災関連事業

魅力あふれる観光と農業の むらづくり



農産物ブランド化の推進化
を始め、遊休農地解消等を図
るため農業振興公社の設立準
備や有害鳥
獣対策、新
規就農者へ
の支援策と
して新規就
農支援対策
補助金を行
う。

3924万円

農業振興対策事業

女性や若者が活躍できる むらづくり



若者の定住促進を図るため
新たな住宅用地や公営住宅の
整備に向けた測量設計・実施
設計・用地
購入等を行
う予定であ
る。

5300万円

若者定住住宅整備事業

未来につなぐ人材を 育てるむらづくり



教育環境整備として、学校
施設の整備を図っていく。平
成29年度では、裏磐梯小学校
改修工事や
監理委託・
裏磐梯中学
校改修に向
けた実施設
計を行う予
定である。

7413万円

学校施設改修事業



1 遠藤 祐一 議員 1 1

- 第四次総合振興計画の成果について
- 古民家の観光活用支援事業及び空き家対策について

2 小椋 元 議員 1 2

- 空き家対策について
- ラビスパ温泉ポンプ保守点検の結果について
- 高校生への就学援助について

3 五十嵐 善清 議員 1 3

- 村道大塩桧原線の除雪について
- 株式会社ラビスパの役員について

議会傍聴にお越しく下さい！

次回定例会は6月上旬頃 開会予定です。

議会は皆さんの生活に寄り添い、皆さんの声を村へ反映する議決機関です。村のこれからが見える議会傍聴にぜひ足をお運びください。

議会傍聴、議会だよりのお問い合わせは議会事務局まで。

TEL：(23) 3263 FAX：(25) 7358

HP アドレス：<http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>

ズバリ！！

村政を質す

3人の議員が一般質問

一般質問とは？

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等についての所信や疑問をただすことで、報告や説明を求めることをいいます。



Q. 第四次総合振興計画の成果を問う

A. 目標の9割程度は達成

問 第四次総合振興計画について、総合的な実績評価についてどのように考えているのか。

答（村長）

全体的な評価については、目標の9割程度が達成出来たものと評価しています。

問 総合振興計画について一定の成果が得られているようだが村民全体の雇用拡大と所得向上についてはどう考えているのか。

答（村長）

村民の所得向上についてはこれまででも取り組んできましたが、未だなし得なかった部分も多く、それらを含め第五次総合振興計画で実施できるように努めていきます。

問 人口減少や少子化対策、農業や観光面での風評被害払拭等の課題を第五次総合振興計画ではどのように反映していくのか。

答（総務企画課長）

第四次総合振興計画の検証結果を踏まえ早急な対策がとれるよう、第五次総合振興計画でも人口減少対策事業を計画しています。

問 新たに観光庁で推進する古民家活用や国・県から示される支援事業を敏感に村は活用しているのか。

答（総務企画課長）

古民家を活用した観光まちづくり推進事業などは、当村でも条件が合致するようであ

Q. 国や県の支援事業を活用せよ

A. 住民の意見踏まえて検討する

支援事業を活用していきたいと思っています。

継続した対策が必要

問 こうした支援事業を行政主体で活用することが財政負担の軽減や地域活性化に繋がるのではないのか。

答（村長）

行政指導型だけでは前進しないので地域住民との協議を重ね連携して、今ある制度と

問 空き家対策についてはツアー見学や宿泊体験といった企画を継続して行うことが重要と思うが村の事業計画はどうなっているのか。

答（総務企画課長）

昨年、空き家バンクの開設や田舎暮らしの体験宿泊ツアーを実施しました。複数の問い合わせと商談中のものが一件検討されています。

29年度においてもこうした企画や周知を継続したいと思っています。



▲これからの村づくりへ期待を寄せる
※ 関連記事は16ページに記載



▲歴史的資源を有効活用せよ

Q. 空き家解体に早急な対応求める

A. 協議検討し迅速な対応に努める

小
椋
元



問 深刻な空き家状況が続く中、現在の空き家の数はいくつなのか。

答（総務企画課長）

昨年、行政区長や近隣住民の方の協力をいただき調査した結果166件でした。

問 空き家の持ち主とは連絡が取れているのか。

答（総務企画課長）

前年度、持ち主に対して固定資産税の納付書と合わせて空き家解体と改修の助成制度のリーフレットを送付しました。



▲空き家解体を優先的に実施せよ

問 松原地区では空き家の数が増え、状態によっては危険な箇所もあり早急な対策が必要であるが対応策はないのか。

答（総務企画課長）

昨年施行した、空き家の管理と利活用に関する条例に基づき予算措置をし、空き家解体と改修の助成に努めます。

問 空き家の解体を図るためにも村で全額補助することは出来ないのか。

答（総務企画課長）

全額補助制度については他の補助制度との関係から難しいと判断しています。

問 村内でも緊急性の高い松原地区に適用出来るような制度をつくり、すぐに対応すべきではないか。

答（村長）

空き家の持ち主と、なるべく早く相談出来るような体制を整備し、空き家対策を迅速に進めていきたいと思っています。

赤字施設解消図るべき

問 ラビスパ裏磐梯の保守点検結果とその後のお客の入り込み状況はどうだったのか。

答（総務企画課長）

昨年7月と今年の3月に必要メンテナンスを済ませ源泉の温度56度、湯量は毎分約120リットルとなっています。入館者数は大きな変化はありませんでした。

意見 施設の保守点検にかかる費用も含め、施設の赤字解消を図らなければ、村の負担が増えていくため早急に見直すべきである。



▲増える維持費に見直しすべき

高校までの援助必要

問 高校生への就学援助として、給付型の奨学金制度を設けることは出来ないのか。

答（教育課長）

村では無利子の奨学金制度や遠距離通学費の助成、高校生までの医療費免除を実施しており、これ以外での給付型の就学援助について今のところ実施することは考えていません。

意見 村で実施している事業を精査し、必要に応じて廃止統合すれば財源確保はできるはず。

子育てで一番経費が係る時期に給付型の支援で応援する環境を整備すべきである。





Q. 大塩桧原線の冬季使用見直すべき

A. 住民の意見参考に今後検討進める

問 県道会津若松裏磐梯線の桧原トンネルが開通し冬季も通行可能となったが大塩桧原線の除雪をなぜ未だ行っていないのか。

答（建設課長）

桧原地区の要望を受け、災害時の避難道路を確保することから村道大塩桧原線の除雪を実施しています。

問 現在の大塩桧原線は道幅が狭く危険性があるため、冬季でも通行可能となった桧原細野間を利用するように検討すべきではないか。

答（建設課長）

桧原地区の要望として避難道路確保の観点と県道会津若松裏磐梯線の冬季通行における



▲住民の安全を考慮し検討すべき

る道路改良や防護柵が未完成のため安全性が確保出来次第、検討したいと思います。

問 桧原地区から要望は何度か出されているとのことだが地域住民とは、将来的な使用路線の在り方を協議しているのか。

答（建設課長）

26年当初に説明をしました。その後、桧原地区より冬季も通行出来るようにという要望が出てからは協議が進んでおりません。

問 地域からの要望による必要性も理解出来るが、やはり危険性が高いことから丁寧に説明会を重ね理解していただき見直しをすべきではないか。

答（建設課長）

地元の了解を得ながら、そのような形で進めていきたいと思っています。

Q. 三セク役員体制

見直すべき

A. 指摘事項を精査し

協議する

問 以前、第三セクターの役員体制の見直しについて指摘があったが村長が代表取締役を兼務しているのはなぜか。

答（村長）

昨年9月に開催された役員会でご指摘のあった、組織改革について協議し監査役を議会からではなく外部から導入することが決まり、今年1月の役員改選で代表取締役への再任が決定されました。

問 指摘された件について、村長は第三セクター代表の継続を見直すと発言されていたのに再任にいたったのはなぜか。

答（村長）

役員改選の際に体制の見直しを含めご提案し、代表取締役交代を希望しましたが、皆さんの同意のもと再任が決まったものです。

問 役員改選後ではあるが、監査監督するのは議会からも役員として入るべきであり、役員体制の見直しを図るべきではないのか。

答（村長）

他の自治体を見ても第三セクターへの役員は少なく、監査の透明性を図る上でも今回の体制で行なっていきたいと考えています。



▲役員体制見直しで透明性求める

議案が提出されました

ここでは、第1回定例会で議決された議決状況と議案の一覧を紹介します。
また、各議案の詳細及び審議については次のページに記載されています。



条例

議会の議決すべき事件を定める 議決機関としての役割重要！

新 議会の議決すべき
事件を定める条例

北塩原村第五次総合振
興計画の策定について

北塩原村個人情報保護条
例の一部を改正する条例

【結果】全員賛成で可決

【結果】全員賛成で可決

【結果】全員賛成で可決

総合計画の基本構想の策定、
定住自立圏形成協定の締結等
について、地方自治法の規定
に基づき、議会の議決すべき
事件を定める条例を制定する。

平成29年度から10年間を計
画期間として、村の将来、未
来、理想とする考え方を明ら
かにした基本構想と未来像を
実現するための施策を示した
基本計画から構成される第五
次総合振興計画について、議
会の議決を求める。

行政手続における特定の個
人を識別するための番号の利
用等に関する法律の一部改正
に伴う引用する規定の所要の
改正と自己情報の利用停止請
求に係る規定を整備する。

【解説】

定住自立圏構想とは

定住自立圏構想は「中心
市」の都市機能と「近隣市
町村」の農林水産業、自然
環境、歴史、文化など、そ
れぞれの魅力を活用して、
相互に役割分担し、連携・
協力することにより、地域
住民のいのちと暮らしを守
るため圏域全体に必要な生
活機能を保持し、地方圏へ
の人口移住を促進する政策
である。

※詳細は16ページ記載

北塩原村道路線の
変更について

【結果】全員賛成で可決

道路新設改良に伴う松陽
台・寺ノ前線の路線変更を行
う。

【結果】全員賛成で可決

北塩原村個人番号の
利用及び特定個人情報
報の提供に関する条例
の一部を改正する条例

行政手続における特定の個
人を識別するための番号の利
用等に関する法律の一部改正
に伴う引用する規定の所要の
改正をする。

議案概要

そこが気になる村議会 定例会ではこのような



村道路線を新たに認定も 住民の生活路線優先すべき！

北塩原村道路線の 認定について

【結果】全員賛成で可決

ロイヤルシテイ裏磐梯リゾート地内の道路について、村道認定を行う。

質 疑

優先順位を明確に！

【問】小 棕 眞 議員

提出議案に記されている場所は、別荘地が多く交通量が決して多くはなく、認定する必要があるのか。

【答】建設課長

村の定める要件に合致しており、また現在、二地域居住や、移住・定住を推進している中、今後さらなる促進を図ることを目的として提出したものです。

【問】小 棕 眞 議員

村道に認定後は除雪も必要となり村の負担が増えメリツトがないように思われる。

生活路線として優先順位の高い箇所から整備すべきではないのか。

【答】村 長

二地域居住や移住・定住の促進を図るため、また村道の認定要件と合致していたことから、認定が必要と判断したが、今後は住民生活の必要性がより高いところから整備を進めていきます。

【意見】小 棕 眞 議員

認定する目的は理解出来るが、まずは住民生活の向上のため緊急性の高いところから優先的に進めるべきである。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

【結果】全員賛成で可決

育児休業、介護休業等又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴う、育児を行う職員の対象

となる子の範囲の拡大、介護を行う職員の超過勤務の免除、介護休暇の分割取得、介護時間の取得について定める改正を行う。

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

【結果】全員賛成で可決

地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部改正による育児休業等の対象となる子の範囲の拡大等のための必要の改正をする。

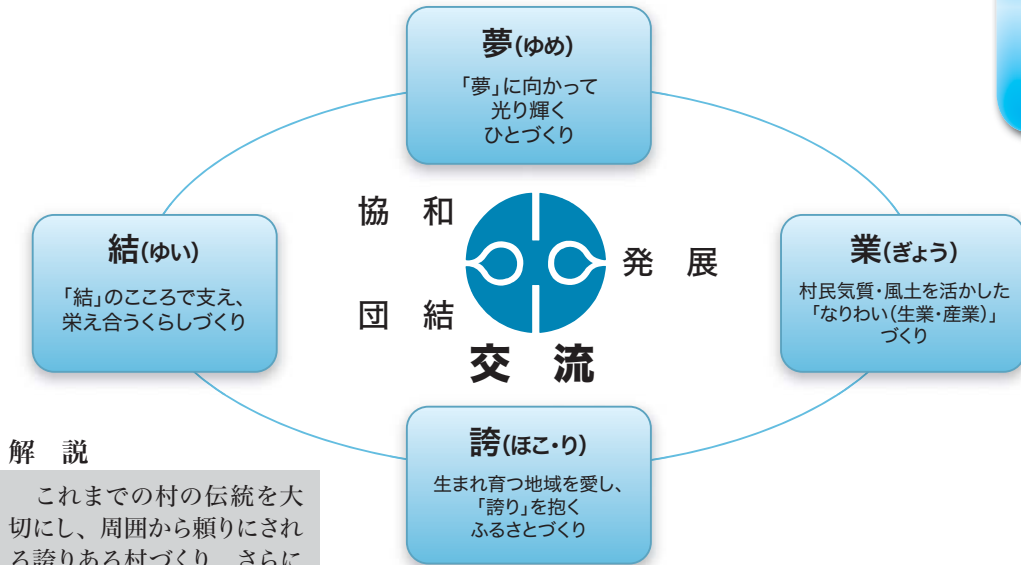
北塩原村税条例等の一部を改正する条例

【結果】全員賛成で可決

地方税法の改正により、住宅ローン控除制度適用期限の延長、グリーン化特例の延長、環境性能割導入時期の変更、法人税割の税率の引き下げ時期の変更といった所要の改正をする。

【ビジョンイメージ図】

村民の豊かな暮らしの実現



解説

これまでの村の伝統を大切に、周囲から頼りにされる誇りある村づくり、さらには村民の豊かな暮らしがイメージされている。

総合振興
計画

第五次総合振興計画を策定

村づくりの基本構想・計画を全員賛成で可決！

「輝け未来 みんなの五色プロジェクト 北塩原」

総合計画とは

総合振興計画は、村の最上位に位置する総合的な計画で、先代から引き継いできた村の更なる隆盛と村に暮らす多様な活動主体が光り輝くために定める計画をいう。

計画校正と機関

総合振興計画は、村の将来や未来、理想とする考え方を明らかにした「基本構想」と、村の未来像を実現するための施策体系等を体系的に示した「基本計画」から構成されている。

今回、可決された第五次総合振興計画は2017年度から2026年度までの10年間の計画期間とし、村の目指すべき将来像や目標を示すとともに、今後10年間に推進する

施策が個別に示されている。

ビジョン実現へ道標

行政においては、別途作成する諸施策推進のために取り組む具体的な事業計画立案等の指針や、各活動主体の取り組みにも活用される。

総合振興計画は、社会情勢の変化、財政状況に応じて見直しをし弾力的な運営を行っていく。

村の現状と課題

近年、国内の社会情勢は地方の人口減少が深刻な問題として浮き彫りになっている。

村をとりまく環境もまた、少子化や人口減少に始まり農業従事者の高齢化と担い手不足、風評被害の払拭と解決すべき多くの課題がある。

村の強みを活かす

こうした村をとりまく環境は厳しい一方で、村ならではの強みから「未来へつなぐ活力あるむらづくり」を目指していくというのが今回の計画目標でもある。

北山地区・大塩地区・松原地区・裏磐梯地区といった特性の異なる4つのエリアから構成された自然や個性を活かした豊かな村である本村には、年間270万人の来訪者があり、こうした強みを活かして「交流」という観点から厳しい社会情勢に立ち向かい、希望あふれる村民の豊かな暮らしを目指していく。

議会からは、総合振興計画による施策施策の実現性や施策例も含め、むらづくりに対する指摘や意見がなされた。

各会計の議決状況一覧

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計	▲1億1,971万円	可決（全員賛成）
国民健康保険事業費特別会計	288万円	可決（全員賛成）
簡易水道事業費特別会計	▲1,590万円	可決（全員賛成）
特定環境保全下水道事業特別会計	▲408万円	可決（全員賛成）
介護保険事業特別会計	517万円	可決（全員賛成）

補正予算 審議内容

着実な事業執行と改善を求め

一般会計補正予算案を全員賛成で可決！

事業計画着実に！

【問】小椋 眞 議員

裏磐梯観光施設再整備事業における実施設計業務委託料の減額された内容はなにか。

【答】 商工観光課長

多目的グラウンドの建設に係る実施設計業務委託完了に伴い、当初予定されていた管理棟及びトイレの建築が国庫補助の関係上、出来なかったため減額するものです。



▲多目的グラウンドの整備が待たれる

【意見】 小椋 眞 議員

補助金申請の関係があるとはいえ、当初予定されていた計画が遅れており、事業遂行に支障をきたしている。今後はこういったことがないように、国県への補助に関する要望を積極的に行うべきである。

予算編成慎重に！

【問】 蟹巻 尚武議員

除雪対策として新たにロータリーを購入予定しているものが出来なかったのはなぜか。

【答】 建設課長

当初、ロータリー車の購入に社会資本整備事業補助金を充てる予定でしたが申請額がつかなかったため、今年度での購入は出来なかったものです。

【問】 蟹巻 尚武議員

購入出来なかった経過は理解したが、当初予算編成の試算が甘かったのではないか。

【答】 村長

当初予算編成においては、補助金の申請額を見込んで、ロータリー車購入に係る予算を計上しましたが近年、国の予算が縮小しており社会資本整備事業の補助額が少なく、なつてきている傾向にありますので、今後は補助額の上乗せされるよう要望等を行っていきます。



▲車両更新計画的に行うべき

納付方法簡素化すべき

【問】 五十嵐 正典議員

認可保育所運営負担金の補正予算が計上されたのはどういった要因があったのか。

【答】 住民課長

認可保育所運営負担金の補正は28年度当初見込んでいた人数より増えたこと、さらには、0歳児から3歳児まで負担額が異なるが単価が高い0歳児と2歳児の受け入れが増えたものによります。

【問】 五十嵐 正典議員

認可保育所預かり料の納付に関して口座振替へ切り替えて納付者負担を軽減出来ないのか。

【答】 住民課長

金融機関や出納室のシステムの調整も必要になるので、今後検討していきます。

意見書

全員賛成で可決

国へ意見書を提出!!



▲国へ原発廃炉廃炉を求め意見書を提出

福島第二原発の全基廃炉を
国に強く要請!

概要

福島第二原発4基は福島県が再三4廃炉を求めてきたが未だ指針を示していない。そうした中、昨年の11月22日福島県沖を震源とするM7.4の地震で第二原発3号機冷却機能が一時停止し県民に大きな不安を与えた。このように復興の大きな足かせとなっている福島第二原子力発電所の全基廃炉を国の責任で早急に実現するよう要望するもの。

提案者

・五十嵐 力雄 議員
・小 椋 元 議員
・五十嵐 善 清 議員
・若 林 幸 子 議員

結 果

・全員賛成で可決

提出先

・衆議院議長
・参議院議長
・内閣総理大臣
・経済産業大臣
・復興大臣

解 説

【意見書とは】

意見書とは、地方公共団体の公益に関することに関して、議会の意思を意見としてまとめた文書をいい、地方自治法第99条により、議員が発案して本会議にはかり、議長名で国会又は関係行政庁に提出することが出来るとされています。



▲地域で支える子どもたちの未来（さくら幼稚園入園式）

嬉しい入園式!

〈今月の表紙〉

さくら幼稚園、裏磐梯幼稚園の入園式が4月10日（月）に行われました。さくら幼稚園では15名、裏磐梯幼稚園では2名の園児等が新たに、この春から入園することになりました。園児等は緊張しながらも、名前を呼ばれると元気に返事をし、子どもたちの成長に保護者は感動している様子でした。

編集委員

委員長 若林 幸子
副委員長 蟹巻 尚武
委 員 五十嵐 力雄
委 員 五十嵐 正典
委 員 大竹 良幸

『編集後記』

陽春の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、議会においては新年度予算や第五次総合振興計画等を可決し、住民代表として村政を厳しく監視し、村のさらなる発展へその責任を果たしていく所存です。

広報委員会でも議会活動を分かりやすくお伝えし、議会をより身近なものに感じていただけるよう努めてまいりますので、皆様の声をお聞かせください。

委員一同